

## 事例 3

# ～施設内消費電力として使用するための太陽光発電設備導入事例～ 社会福祉法人における独立型太陽光発電

### ■事業及び発電設備の概要

社会福祉法人拓心会は、介護保険事業、障害者（児）自立支援事業、公益事業（住宅型有料老人ホーム）などの福祉サービスの提供を行っている。当法人の敷地内には、5つの施設が点在しており、1日あたり、平均87人の入居者及び平均120人の通所者が施設を利用している。各施設内で必要となるエネルギーの供給は、化石燃料の使用や電力会社からの購入による部分が多いが、木質ペレットボイラーの導入など再生可能エネルギーの活用にも積極的に取り組んでいる。本事業においては、5つの施設の建物の屋根部分に合計731枚の太陽光パネルを設置し、施設内消費電力の一部として使用することを予定している。

太陽電池モジュール公称最大出力 181.2 kW

パワーコンディショナー定格出力 165kW

年間想定発電電力量 178,750kWh/年

### ■事業実施上の課題

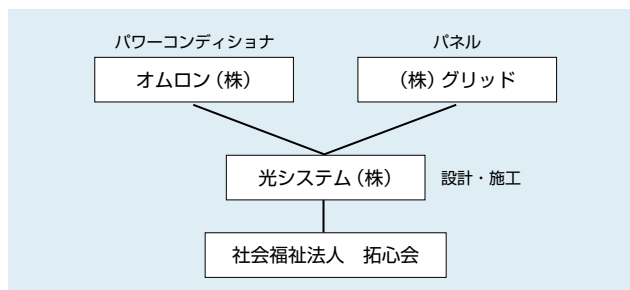
社会福祉法人として安定した福祉サービスを提供するため、電気料金の上昇が施設の運営に与える影響を緩和する必要があった。

社会福祉法人の性質上、できるだけ法人負担の少ない方法で設備を導入することが求められていた。

青森県五所川原市は、豪雪地帯に指定されているが、1月～2月にかけて2メートルの積雪があり、十分な発電ができないのではないかと不安があったため、シミュレーションにより経済性が確保できるか検討する必要があった。



### ■事業の実施体制



### ■利用した施策と内容

「独立型再生可能エネルギー発電システム等対策費補助金」

施設の屋根等に165kWの太陽光発電設備を設置し、発電した電力を施設内消費電力の一部として使用する。

### ■施策を利用したことによる事業の成果

施策の利用により、太陽光発電システム導入による光熱費の抑制効果が設備導入費を上回り、地域に根ざした福祉サービスの提供を行う環境が整備できた。また、当地域において、社会福祉法人への太陽光発電の導入は初めてであり、当法人への導入により、他の社会福祉法人への波及や見学者の増加を見込んでいる。

### ■問い合わせ先

社会福祉法人拓心会

住所：青森県五所川原市水野尾字縣樋 223-3

URL：<http://www.takushinkai.or.jp/>